



## ワーカーズコープと都市農業

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会グループの日本社会連帯機構が中心になり、これを川崎平右衛門顕彰会等が応援する形で都市農業研究会を先の2月3日に発足させている。目下、具体的な展開策について検討中であるが、川崎平右衛門の功績で開発された武蔵野新田エリアを対象に、まず西東京市をモデルに、地元JAの協力も得て「農あるまちづくり講座」を開設することで検討がすすめられている。講座を受講しながら地域・地元の農業や歴史を知り、農にかかわりあいながらまちづくりへの参画をめざす▼一方、ワーカーズコープでは「超高齢社会における真の健康長寿社会の実現に資することを目的」に、一般社団法人ポールdeウォーク推進協議会を2020年6月にスタートさせている。その活動のいかんとして、都市農業の現場見学をも兼ねた「都市農業シリーズ」のウォーキングを開始している▼5月連休の最終日8日(日)は、練馬でウォーキングを行った。午前9時、都営地下鉄・光が丘駅に集合。光が丘公園から清水山の森等を歩いて、11時過ぎにゴールの白石農園に到着。ここで園主の白石好孝さんから白石農園の概要や練馬方式の体験農園、都市農業の現状等について説明を受けたうえで、体験農園の現場も含め農園全体を見学。最後に直売所で野菜等を購入して12時半に現地解散。都市農業シリーズのウォーキングの評判は上々で、特に女性陣からは取り立ての新鮮な野菜を購入できた、と喜びの声▼ところで練馬では2019年に世界都市農業サミットが開催されているが、ここで①「都市農業」はいのちを育む、②「都市農業」は歴史と文化を育む、③「都市農業」は公正で開かれた社会を育む、が宣言されている。ワーカーズコープの農業へのアプローチ・参画は、これら宣言の実現をめざす大きな力になるとともに、JAとの連携強化のきっかけになることを期待したい。

(土着菌)